

令和4年度 第2回学校運営協議会記録 (ホームページ掲載用)

今年度第2回目の学校運営協議会を下記の日程で開催しました。

1 日時 令和4年11月29日(火) 午後6時30分～午後7時50分

2 運営協議会長あいさつ

- ・ 寒い中にもかかわらずあいさつ運動への御協力に感謝している。
- ・ 先週、小中一貫教育推進協議会が本校を会場に行われた。校長先生より本校のこれまでの取り組みを紹介いただき、参加された方々からはこれからの学校運営について貴重な意見をいただく機会となった。
また、校長先生が藤島地域振興会議において本校の学校運営の状況について紹介している新聞記事を読んだ。あらためて素晴らしい学校になってきているなど感じた。
- ・ テレビを見ていたところ、話をしないで給食を食べる黙食についての映像を見ました。会話をしないで給食を食べている子どもたちを見ていたら、黙食がストレスになっていないかと心配したところだ。早く普通に食べられるようになればいいなども感じた。
- ・ 本日も皆さんから忌憚のない御意見をお願いしたい。

3 学校長あいさつ

- ・ 協議の中で、どんな大人になってほしいか、どんな萩野地区を目指すのかについて意見をもらうワークショップがあり、来年度の本校が目指す生徒像を考えていく上で参考にしていきたい。
- ・ 10月から11月にかけて生徒だけでなく、体調を崩す職員も多く、学習指導や学校生活を普通に行うことができるか心配だったが、なんとか2週間を乗り切った。今は欠席者も少なくなってきました。これからも油断せず、子どもたちが安心・安全な学校生活を送っていけるよう見守っていきたい。
- ・ 明日、部活動の地域移行について意見を聞く会議がある。部活動の地域移行だけでなく、部活動のクラブ化についても本校としても検討を始めていく予定である。
- ・ 給食の食材の高騰が続いる。おかずの量を減らすことや、デザートをなしにするなどの工夫も考えられるが、成長期の児童生徒のことを考えると量を減らすなどではできないのではないかと考えている。国からの給食費の補助金がいただけないのではということが、11月24日学校給食運営協議会で話題となった。新庄市の給食に関する補助金も厳しいとお聞きし、そのような厳しい財政状況を考えると、本校としても給食費の値上げをせざるを得ないのではと考えている。
- ・ 生徒は元気に過ごしている。今日から昼の放送で学習に関する音楽を流した。今日は掛け算の歌が流れた。
- ・ 生徒が明るく元気に過ごしていけるよう皆さんの御意見を賜りたい。

4 協議

(1) 1学期から2学期前半にかけての学校の様子と今後の見通し(校長)

【校長よりP1～P2を説明後、質疑応答】

(2) 上半期運営協議会の振り返りと下半期の展望

【教頭よりP3を説明後、質疑応答】

(3) グループワーク (どんな大人になってほしいか)

【教頭より説明後、ワークショップ】

- Aグループ： 地元・地域・自立・コミュニケーションがキーワードとなった。将来は、地元に戻ってきて働いてほしい。地域愛を持った大人に育ってほしい。そのためには、地元の食材を食べ、おいしいと感じる子どもたちを育てていきたい。
また、今は、やる気や意欲を高めてほしい。将来に向け今は学んだという気持ちを大切にしながら、こんな大人になりたいという理想を持ってほしいし、親孝行もしてほしい。
最近感じる事として「めんどくさい」という子どもが増えた。そのようなことを言わない子どもに育てたい。
人と人との出会いやコミュニケーションを大切にしてほしい。
また、自立できる大人になってほしい。そして、すべては自分のこととして責任を持って生活してほしいと願っている。
- Bグループ： コロナ禍やSNSの発達により思いやりを持つ機会が減ったと感じている。心身ともに健康になってほしい。
あいさつ運動で明るいあいさつのできる大人になってほしいと願って参加している。また、夢を持てる大人、目標に向かって努力する大人、プラス思考になって前向きに進んでいける大人、協調性のある大人、地元を愛せる人、リーダーシップのとれる大人に育ってほしいと願っている。
- Cグループ： キーワードは信念と仲間づくりで話し合った。信念を持って挑戦していくと郷土愛が大事だと考えた。子どもたちにはしっかりとしたコミュニケーションを持ってほしい。しいては自立できる大人になってほしい。今は、仲間づくりをしっかりと行い仲間がいる大人に育ってほしい。また、優しくさっぱりとした大人になってほしいし、今は目を見てあいさつができる子供になってほしい。
そして、家族や他人に思いやりを持った大人、すべてを身に付けた大人になってほしい。
- 教頭： 現在、来年度の教育計画を立てているところである。皆さんの意見を参考にしていきたい。ありがとうございました。

(4) 運営協議会委員より

- 委員： 他の学区の協議会に参加した。お話をお聞きしながら、保護者と子どもにギャップがあるのかなと感じた。また、部屋にこもった子供を見ていない状況が多くなったと感じた。これからも家庭を大事にしていくことが、よりよい社会づくりにつながっていくと考えている。
- 委員： 放課後子ども教室に参加している。9年間の見通しを持てる萩野学園なので、四則の入った計算ができない子どもが多いと子ども教室の子どもたちを見ていると感じるので、めんどくさがらず最後まで解く力を身に付けさせたいし、身に付けさせてほしい。

また、説明が理解できず、自分の考えに固まっている感じがする子供が多いとも感じている。早くいろいろな考えを聞き入れ、自分の考えを広げられるような子供になってほしい。

- 委員 : 学校というのはただ勉強するだけでなく、仲間意識を持って一緒に頑張っていくとこだと考える。不登校児童生徒の学習の様子についてテレビで見た。タブレット等を使って一人で学習し来年、再来年の学習内容を理解でき、自信がついたという内容だったが、本来、勉強は学校の仲間と一緒に学んでいくことが大切だと思っている。みんなで学びを楽しんでいける協調性を持った児童生徒を育ててほしい。
- 委員 : 特に子供たちが抱えている心の問題を心配している。また、迎えに来た保護者と子育てについて話をしていると、保護者の思いがそのままお子さんの成長につながっているなど感じているし、子育ての基本は家庭にあると感じている。これからも保護者と協力して一緒に子どもたちを育てていければと感じている。
- 委員 : あいさつ運動に2回参加した。子どもたちからのあいさつの声がかなく、元気もないなど感じた。先日、他の場所で雪囲いの作業をしていたところ小学3・4年生の子どもから「ご苦労様です。さようなら」とあいさつされ涙がこぼれた。あいさつされたら自分も頑張らねばと思った。そのようなあいさつができる子どもたちに成長してほしいし、いろいろなところであいさつができる活動を多くし、大人になってもあいさつができる子供に育ててほしい。
- 委員 : 子どもたちを取り巻くSNS等の問題について心配している。利用の仕方について家庭での教育が大切だと感じている。今回のワークショップのようないろいろなことを話し合える運営協議会であつたらなと感じた。
- 委員 : 今日のマメールで朝晩の送迎についてお願いがあつたが、自分の子どもがバスに乗り遅れ送迎をしたときに、ルールを守らない送迎が見られることもあるので心配していたところだった。細かいかもしれないが、大人が送迎のルールのように細かいことを守るようにしていく必要がある。「ちょっとくらいいいかな」と大人が思っているとそれを子どもが見ている。時には厳しくしていくことも必要ではと感じる。
- 委員 : あいさつ運動に参加できず、申し訳なかった。
- 委員 : こんなに協議会が楽しいと感じたのは初めて。地域の方々が一体となつて見守っていることはすばらしいなども感じた。昨年度は防災訓練を参観したが、多くの方々の協力があり素晴らしい訓練だったと感じた。今年度は避難所開設訓練を行うとお聞きしていたが、6月下旬の豪雨時に訓練ではなく実際に開設するという状況があり、昨年度の成果が生き、迅速な対応で職員の協力や連携が素晴らしかったとお聞きし、訓練の成果を通して実践できる対応力が素晴らしいと感じた。
- 委員 : 義務教育学校と普通学校との違いを出していかななくてはと感じている。学園のメリットをしっかりと出してほしい。メリッ

トの一つに例えば、縦割りの活動ができることは教育・行事としていい活動になっていると思う。コロナ禍の中で、なかなか学校行事や校外学習等ができないと聞いているが、地域を自分たちが支えているんだという気持ちで学校運営協議会としても頑張っていきたい。これからも協議会への協力をお願いしたい。

- 委員 : ヒヤリハット情報を共有していきたいと最近仕事等を通して考えている。職場では常々、大きな事故につながらないよう小さいことから情報を共有していくことが大切と伝えている。学園の更なる発展に向けてどんなに小さいことでも結構なので学校へ伝えてほしいと考えている。今日は貴重な御意見をたくさんいただくことができ感謝の気持ちでいっぱいである。

- (5) その他
※ なし

5 連絡等（今後の予定の確認）

- ・ 第3回は1月31日（火）の予定。案内は12月下旬に発送する予定でいる。

※ たいへん貴重なご意見ありがとうございました。